

交 流 通 信

国際交流・多文化共生

田原市で農業を学ぶ JICA研修生が田原市を訪問

独立行政法人国際協力機構(JICA)研修生が田原市で農業研修を行いました。

独立行政法人国際協力機構(JICA)「流域水管理に基づくかんがい排水」コースの研修生が田原市を訪問し、豊川用水と田原市の農業について研修を行いました。田原市では、JICAの研修生を昭和63年から毎年受け入れており、昨年度までに54か国278名の研修生が田原市を訪れています。

●研修の目的

この研修は、開発途上国のかんがい排水分野で活動している若手技術者を対象に行われており、総合的水管理とかんがい排水に関する知識と技術を習得することを目的としています。

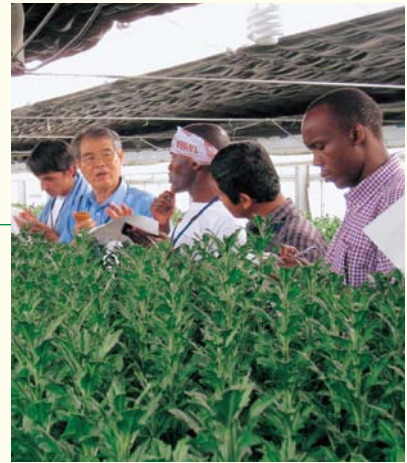


▲水田を見学

●農業を学び、交流を深める

研修生は、2月から8月まで日本に滞在し、主に茨城

県にあるJICAの施設で研修を受講。田原市には、アフリカやアジアの6か国



▲施設園芸(菊)の説明を聞く研修生

7名が、豊川用水の通水により飛躍的に発展を遂げた農業の優良事例の現地研修として8月2日(木)から2泊3日の日程で訪問しました。

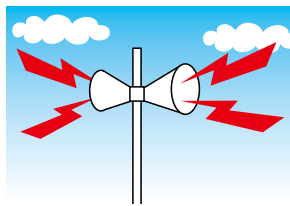
研修生は、豊川上流域のダムなどについて学習した後、田原市でJAの施設や豊川用水の揚水機場、初立池を視察したり、水田や施設園芸の温室を見学しながら、農家の方の話を聞いたりしました。

また、研修期間中は、ホームステイを通じて市民との交流を深めました。

▶広報秘書課 ☎22局0138

- 津波注意報／津波警報／大津波
- 緊急地震速報(田原市で震度4以上が予測される場合)

◆放送される情報
お知らせします。



◆J-ALERTとは
地震・津波や武力攻撃など、国が発信する緊急情報を、人工衛星と市の防災行政無線を利用して、瞬時に市民の皆さんにお知らせするシステムです。

◆ご
瞬時警報システム(通称・J-ALERT)を運用しています。今回は、このJ-ALERTについてご紹介します。

みんなで取り組む防災・減災
けんちゃんの
防災知恵袋 16
全国瞬時警報システム「J-ALERT」



▼防災対策課 ☎23局3548

◆全国一斉自動放送試験
災害時に、国が発信する緊急情報を確実に市民の皆さんにお伝えするため、全国一斉に自動放送試験を実施します。田原市でも、市内に設置されている防災行政無線から次の内容を一斉に放送します。

●実施日時
9月12日(水) 午前10時ごろ、午前10時30分ごろの2回

●放送内容
「これは、試験放送です」×3回
「こちらは、広報たはらです」
↓チャイム(終了)

- 警報
- 東海地震注意情報／東海地震予知情報
- 弾道ミサイル情報／航空攻撃情報／ゲリラ・特殊部隊攻撃情報／大規模テロ情報